様　式　Ｃ－１９、Ｆ－１９－１、Ｚ－１９　（共通）

科学研究費助成事業　　研究成果報告書

令和　４ 年　４ 月 ２８ 日現在

機関番号：３４３２０
研究種目：基盤研究(C)（一般）
研究期間：2015～2021
課題番号：１５Ｋ０４１４４

研究課題名（和文）日本語版 School Function Assessment（SFA）の開発

研究課題名（英文）Development of Japanese version School Function Assessment (SFA)

研究代表者
中島　恵子（Nakashima, Kiko）

京都文教大学・臨床心理学部　臨床心理学科・教授

研究者番号：５０３６９１２０

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費）　　3,700,000円

研究成果の概要（和文）：新たに開発された学校生活機能評価は、国際的な診断・評価基準として採用されているInternational Classification of Functioning, Disability and Health（ICF：国際生活機能分類）に基づいており、小学校・幼稚園・保育園の対象者に１つの評価尺度で検査ができる。また、全国の小学校児童の標準値データの統計解析から標準得点を設定された標準検査であるので、健常児童、発達障害を持つ児童など、その他の支援ニーズを持つ児童等、誰でも対象者として評価し、それぞれの対象者を比較するために必要な標準得点の数値データを提供する。

研究成果の学術的意義や社会的意義
初任者のスクールカウンセラーやセラピストが、支援ニーズを体系的かつ総合的に測定することに貢献する。また、小１プロブレムを予防する取組み等の園での取り組みの進捗や効果を評価することに寄与することが期待される。さらに、小学校の入学時や進学に際しての就学相談や特別支援教育での合理的な配慮について検討する際の根拠資料を提供することに寄与することが期待される。前述の評価を時系列に沿って複数回の実施によって、学校生活機能評価は、対象者の状況の変化や介入の進捗・効果を想定することに寄与することが期待される。教員、スクールカウンセラー、セラピスト等による支援・介入や研究の取組みをサポートすることが期待される。

研究成果の概要（英文）：The newly developed school life function evaluation is based on the International Classification of Functioning, Disability and Health (ICF), which is adopted as an international diagnosis and evaluation standard, and is used for elementary schools, kindergartens, and nursery schools. The subject can be tested with one rating scale. In addition, since it is a standard test in which a standard score is set from statistical analysis of standard value data of elementary school children nationwide, anyone can be targeted, such as healthy children, children with developmental disabilities, and children with other support needs. Provide numerical data of standard scores necessary for evaluation and comparison of each subject.

研究分野：臨床神経心理学

キーワード：心理アセスメント　ICF（国際生活機能分類）　小児後天性脳損傷　発達障害　特別支援教育　合理的な配慮　行動評価　WISC

※科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

１．研究開始当初の背景

小学校では、教育環境が変化し、通常学級により多くの支援を必要とする児童が含まれるようになったため、児童の授業等への参加が成功するかどうかは、学校環境における学習的能力の要件だけでなく、学校での生活機能的要件を満たす準備にかかっていることが明らかにされています。しかし、学校での生活機能を評価するために設計されたもの、または支援計画の決定・判断に直接的に活用できる根拠資料を提供する検査評価はほとんどありませんでした。

２．研究の目的

学校生活機能評価は、小学校・幼稚園・保育園に通っている児童・園児への支援計画の作成や支援の効果を測定するために役立つ検査評価を求めるニーズに応えて開発されました。

３．研究の方法

（１）概要

中島恵子（京都文教大学・教授）を研究代表者として、服部　環（法政大学・教授）と金築　優（法政大学・教授）の研究分担者、馬屋原誠司（スクールカウンセラー）の研究協力者と全国の調査協力者によって、尺度の作成、 標準値調査、 調査データの統計解析、 尺度項目の選定、検査用紙のデザインの５つのフェーズによって学校生活機能評価の開発が行われた（2015 年 ～ 2022 年 ）。

（２）尺度の作成

学校の生活機能を明らかにするために、 ICF の生活機能モデルを参考にして、「活動」、「参加」と「環境因子」を評価対象と設定した。ICF の分類コードから小学校・幼稚園（保育園）での学校の生活機能に関わる項目を洗い出し、小学校の教諭、医療専門職者、スクールカウンセラーと大学の研究者による検収によって、似通った項目や評価しにくい項目を削除して、項目を絞り込み調査用紙を作成した。

（３）予備調査・本調査（標準値調査）

全国の８地域を７ブロックに分割し、各地域ブロックにおいて調査協力者を募集して、調査趣旨等のインフォームド・コンセント行い、同意書を取得して予備調査（障害例 50 名）、本調査（障害例１４０名、健常例 154 名 合計 29４名）を実施した。本調査での対象者の構成は、男子 66%、女子 34%と小学校１年 21%、2 年 19%、3 年 14%、4 年 18%、5 年 14%、 ６年 14%であった。

（４）統計解析

１）Rasch の部分採点モデル（Partial Credit Model）を用いて尺度構成を行った（Rasch 分析）。また、尺度の信頼性係数をクロンバックのα係数を用いて推定した。ほとんどの尺度は 0.90 以上であり、尺度の内的整合性は高いことが認められた（表１）。

２）尺度の信頼性を確認するために、再検査（24 名）により信頼性を算出した。ピアソンの相関係数が 0.960 以上であり、全ての尺度が高い信頼性を有することが認められた（表２）。

３）構成概念妥当性について、仮説①「学校主要活動への参加度が包括的な指標であるなら、個々の環境・状況の間で参加度が異なる」、仮説②「活動の達成度は個人の能力、置かれた状況での要求度、その際の支援によって異なる」、仮説③「学校主要活動への参加度と課題の達成度の関連性は，課題によって異なる」と設定し、検証した。結果（表３）（表４）（表５）において仮説の通り矛盾しない結果が得られた。

（５）尺度項目の選定

健常例と障害例の 2 群（表６）、障害例４群（表７）に対して尺度への回答平均値に有意差があるか確認するため t 検定を実施した。さらに、学校生活機能評価の尺度項目と WISC4 の項目についてピアソンの積率相関係数を算出（表８）した。これらの統計解析の結果等を含めた検討の結果から学校生活機能評価の尺度項目を選定した。

４．研究成果

（１）研究の直接的な成果

１）学校生活機能評価は、国際的な診断・評価基準として採用されている国際生活機能分類（ICF）に基づいて、学校（園）における多方面にわたる総合的な生活機能の評価尺度の視点から、小学校、幼稚園（保育園）を通して使用できる検査尺度と評価データを提供する。

２）全国の小学校児童の標準値データを収集し、統計解析から作成された標準検査であるので、健常児、障害児、病弱児等のすべての児童・園児を対象者として評価することができる。

３）国際生活機能分類（ICF）に基づいた標準検査として開発された学校生活機能評価は、ICF の生活機能モデルの分類構成の「参加」、「活動」および環境因子として「援助」から構成されている。従って「参加」、「活動（達成度）」、「援助」の相互作用持つ対象者の全体像をとらえたデータを提供する。

４）評価した素点小計を客観的な数値である標準得点（100 が平均値）に換算することで幼稚園（保育園）では育みたい資質や能力 を小学校では多方面にわたる総合的な生活機能の比較から支援のニーズを明らかにできる。また、平均的な他者や支援の前後の変化を比較することができる。

５）学校生活機能評価は、国際生活機能分類（ICF）の多数の項目から標準値調査データの統計解析を通して、弁別性の高さ、WISC 検査との高い相関性などの条件から評価尺度を選出し、WISC 検査のテスト・バッテリーとして開発された。WISC 検査といっしょに活用することで、対象者の包括的な評価を補完するデータを提供する。

（２）研究の今後に期待される成果

１）小１プロブレムの予防

幼稚園・保育園で実施される小１プロブレムを予防するカリキュラムの開発を支援し、園で取り組まれるカリキュラム・マネジメントを実施する際の評価尺度を提供する。幼稚園教育において育みたい資質・能力について、現在の状況を、国際生活機能分類（ICF）に基づいた具体的で理解し易い生活機能の尺度によって、標準得点という客観的な数値データを提供する。

２）就学相談・事故・病気・服薬等における状況の評価

小・中学校入学前に行われる就学相談、事故・病気・服薬等の影響の評価おいて、実施される WISC 等の全般的知能検査を補完するテスト・バッテリーとして、適切な学習環境を検討する際の根拠資料を提供する。

3）特別支援ニーズの把握

小学校・幼稚園・保育園における特別支援ニーズを国際生活機能分類（ICF）に基づいた生活機能から明らかに示し、客観的な標準得点から対象者の持つ支援ニーズ（弱み）や得意な能力（強み）を明らかにする。さらに、支援アプローチのモニタリングや効果を評価する際の指標となる数値データを提供する。

4）治療モニタリングと評価

学校生活機能評価は、WISC 検査のテスト・バッテリーとして活用することをめざして開発された標準検査であるので、後天性脳損傷による認知機能の低下を呈する症例において、リハビリテーション等の治療モニタリングや効果を評価する数値データを提供する。

5）実証的調査研究

学校生活機能評価は、多くの研究のプロトコルや設定に役立つ多くの特性を備えていることから、比較することが可能な数値データを提供する。

表1. 標準化データの内部一貫性信頼性係数（クロンバックのα係数）とその95%信頼区間

尺度	α係数とその95%信頼区間			記述統計量						
	α係数	下限値	上限値	M	SD	中央値	最小値	最大値	歪度	尖度
Part Ⅰ										
6つの環境・項目　通常学級 (n=89)	0.89	0.86	0.92	34.8	4.1	36.0	6	36	-4.97	28.31
6つの環境・項目　特別支援学級 (n=51)	0.97	0.97	0.98	29.3	9.2	34.0	6	36	-1.49	0.74
Part Ⅱ										
身体的側面の人的介助 (n=136)	0.95	0.94	0.96	45.7	8.3	48.5	13	52	-2.36	5.78
身体的側面の適応調整 (n=136)	0.96	0.94	0.97	47.3	7.7	50.0	13	52	-2.78	8.08
認知・行動的側面の人的介助	0.92	0.90	0.94	28.9	6.3	30.0	9	36	-1.31	1.49
認知・行動的側面の適応調整	0.94	0.92	0.95	31.0	6.2	33.0	9	36	-1.97	3.46
Part Ⅲ 活動の達成度（生活機能の身体的側面）										
1 移動 (n=139)	0.99	0.99	0.99	69.2	12.8	73.0	19	76	-3.32	9.77
2 姿勢保持と変更	0.95	0.94	0.96	44.4	7.2	46.0	13	48	-3.27	9.59
3 リクリエーションの動き	0.97	0.96	0.98	39.9	6.8	42.0	11	44	-3.12	9.23
4 操作を要する動作	0.98	0.97	0.98	58.0	10.1	61.0	16	64	-3.28	10.07
5 補装具の使用	0.98	0.98	0.99	89.9	16.0	95.0	25	100	-2.81	7.97
6 準備と片付け	0.97	0.96	0.98	57.4	10.0	60.5	16	64	-2.81	7.67
7 食事	0.97	0.97	0.98	53.0	7.3	54.0	14	56	-4.23	17.44
8 排泄	0.97	0.97	0.98	54.9	8.7	57.0	15	60	-3.65	12.69
9 衣服の管理	0.98	0.98	0.99	62.5	10.1	65.0	17	68	-3.70	13.29
10 車椅子操作	0.96	0.95	0.97	37.8	8.4	39.5	12	48	-1.57	2.11
11 車椅子の移乗	0.94	0.92	0.95	39.1	8.8	39.0	12	48	-1.63	2.34
12 階段の昇降 (n=135)	0.95	0.94	0.97	22.8	3.0	23.0	6	24	-4.95	24.41
13 コンピュータと機器の使用 (n=135)	0.98	0.98	0.99	18.3	10.3	16.0	8	32	0.14	-1.85
14 機能的コミュニケーション	0.96	0.95	0.97	43.6	8.4	46.0	14	52	-1.91	3.61
15 記憶と想起	0.94	0.93	0.96	35.2	5.4	37.0	11	40	-2.65	8.03
16 社会的習慣の遵守	0.92	0.91	0.94	39.0	7.1	41.0	19	48	-0.67	0.10
17 大人の指示および校則の遵守	0.96	0.95	0.97	52.0	9.5	55.0	16	60	-1.98	3.76
18 課題遂行と達成	0.96	0.95	0.97	60.6	12.1	64.0	19	76	-1.23	1.03
19 積極的な交流	0.97	0.97	0.98	66.0	13.5	71.0	20	80	-1.41	1.35
20 行動の制御 (n=139)	0.93	0.91	0.95	36.9	7.6	38.0	18	48	-0.44	-0.74
21 身だしなみ	0.96	0.95	0.97	36.2	5.8	38.0	10	40	-3.31	11.17
22 安全	0.96	0.95	0.97	34.6	6.5	37.0	12	40	-1.80	2.79

表2. 標準化サンプル (N=24) を用いた素点の再検査信頼性

尺度	ピアソンの相関係数*	級内相関係数*
Part Ⅰ		
6つの環境・項目　通常学級 (n=89)	1.000	1.000
6つの環境・項目　特別支援学級 (n=51)	1.000	1.000
Part Ⅱ		
身体的側面の人的介助 (n=136)	0.999	0.999
身体的側面の適応調整 (n=136)	0.999	0.999
認知・行動的側面の人的介助	0.998	0.999
認知・行動的側面の適応調整	0.999	0.999
Part Ⅲ 活動の達成度（生活機能の身体的側面）		
1 移動 (n=139)	1.000	1.000
2 姿勢保持と変更	0.987	0.992
3 リクリエーションの動き	1.000	1.000
4 操作を要する動作	0.995	0.998
5 補装具の使用	0.998	0.999
6 準備と片付け	0.997	0.998
7 食事	0.961	0.979
8 排泄	0.971	0.984
9 衣服の管理	0.984	0.992
10 車椅子操作	0.998	0.999
11 車椅子の移乗	0.997	0.999
12 階段の昇降 (n=135)	0.919	0.958
13 コンピュータと機器の使用 (n=135)	1.000	1.000
14 機能的コミュニケーション	0.998	0.999
15 記憶と想起	0.986	0.993
16 社会的習慣の遵守	0.998	0.999
17 大人の指示および校則の遵守	0.999	1.000
18 課題遂行と達成	1.000	1.000
19 積極的な交流	0.999	1.000
20 行動の制御 (n=139)	0.999	1.000
21 身だしなみ	0.970	0.982
22 安全	0.997	0.998

(注) 四捨五入により1.000となる尺度が多いため，ここでは小数点以下3桁まで表示した。

* p < .0001

表3．環境・状況別の平均値と標準偏差（N=243）

環境・状況	平均値	標準偏差
通常学級	5.86	0.69
校庭・休み時間	5.88	0.68
交通手段	5.93	0.50
衛生（トイレ・手洗い）	5.98	0.32
移動	5.96	0.41
食事の時間	5.95	0.43

表4．人的介助（z）を統制変数とする適応調整（x）と活動の達成度（y）の偏相関係数（r(x,y|z)）

課題	r(z,x)	r(z,y)	r(x,y)	r(x,y|z)
身体的課題				
移動	0.61	0.47	0.33	0.07
姿勢保持と変更	0.72	0.64	0.69	0.42
レクリエーションの動作	0.85	0.15	0.14	0.03
操作を要する動作	0.78	0.24	0.22	0.05
教材の使用	0.77	0.52	0.52	0.22
準備と後片付け	0.76	0.69	0.66	0.29
食事	0.58	0.33	0.28	0.11
衛生	0.81	0.06	0.09	0.08
衣服の管理	0.86	0.04	0.04	0.02
筆記課題	0.66	0.71	0.75	0.53
楽器の演奏	0.78	0.37	0.42	0.22
階段の昇降	1.00	-0.05	-0.05	-
コンピュータと機器の使用	0.97	0.19	0.21	0.12
認知・行動的課題				
機能的コミュニケーション	0.73	0.70	0.68	0.35
記憶と理解	0.84	0.67	0.58	0.04
社会的慣習の遵守	0.66	0.70	0.63	0.32
大人の指示および校則の遵守	0.71	0.78	0.77	0.50
課題遂行と達成	0.76	0.72	0.69	0.32
前向きな交流（相互作用）	0.70	0.57	0.62	0.38
行動の制御	0.78	0.79	0.74	0.33
身だしなみ	0.71	0.44	0.30	-0.03
安全	0.57	0.38	0.21	-0.01

（注）r(z,x)は人的介助と適応調整の相関係数，r(z,y)は人的介助と活動の達成度の相関係数，r(x,y)は適応調整と加齢道の達成度の相関係数である。

表5．課題の達成度を独立変数，参加度を従属変数とした重回帰分析（ステップワイズ法）の結果

	従属変数（学校主要活動への参加度）							
独立変数（課題）	校庭・休み時間		交通手段		衛生（トイレ・手洗い）		移動		食事の時間	
身体的課題										
移動	0.16	*			0.21	**			0.16	.
姿勢保持と変更	-0.09				-0.27	***	-0.21	**	-0.16	.
レクリエーションの動作										
操作を要する動作			-0.29	***	-0.25	**			-0.20	*
教材の使用	-0.42	***			-0.40	***	-0.59	***	-0.36	**
準備と後片付け	0.33	***	0.43	***	0.79	***	0.61	***	0.67	***
食事							0.07			
衛生	0.09	.			0.16	**	0.11	*	0.13	*
衣服の管理	-0.10	.								
筆記課題			-0.39	***	-0.19	.			-0.45	***
楽器の演奏	0.86	***	0.17	*	-0.20	.			0.17	.
階段の昇降							-0.09	.		
コンピュータと機器の使用	-0.58	***			0.13					
認知・行動的課題										
機能的コミュニケーション			0.31	**			0.26	**		
記憶と理解	0.17	*			0.51	***	0.33	***	0.30	**
社会的慣習の遵守	-0.23	**			-0.16	.	-0.23	*	-0.21	*
大人の指示および校則の遵守	-0.13		-0.28	**	-0.37	***			-0.27	*
課題遂行と達成										
前向きな交流（相互作用）	0.38	***	0.35	***	0.28	*	0.42	***	0.45	***
行動の制御							-0.22	**		
身だしなみ	-0.12	*	0.20	***						
安全	-0.14	*					-0.13	*		
R2（決定係数）	0.61	***	0.35	***	0.47	***	0.58	***	0.34	***
VIF（Variance Inflation Factor）	1.84～5.37		1.30～4.25		1.39～5.37		1.27～5.53		1.38～5.27	

***:p<.001，**:p<.01，*:p<.05 .:p<.10

表6．健常者と障害例の２群クロス集計結果に有意差があるか確認するためのカイ二乗検定結果

項目№	大項目	中項目	小　項　目	n	表側数	表頭数	注釈	カイ2乗検定（独立性の検定） 統計量	自由度	p値	判定	クラメール 連関係数
1	参加度	交通手段	登下校：一人で登下校する場面への参加状況（家族による毎日の送迎は⇒3）	294	2	6		27.85	4	0.0000	[**]	0.3078
2		衛生	衛生：トイレの適切な活用状況　（トイレ不使用、オムツ使用の場合は⇒1）	294	2	6		14.52	5	0.0126	[*]	0.2222
3		食事	食事：食事・準備と後片付けへの参加状況	294	2	6		17.89	5	0.0031	[**]	0.2467
4		休憩	休憩：休み（白山）時間の身体的・社会的な活動への参加状況	294	2	6		33.15	5	0.0000	[**]	0.3358
5		授業	授業/行事：教室の学習、体育館・グランド等の行事・集会への参加状況	294	2	6		16.65	4	0.0023	[**]	0.2380
6	援助度	身体的課題	廊下・室内・室外の移動や着席時の姿勢を保持する　人的介助	294	2	4		53.59	3	0.0000	[**]	0.4269
7			廊下・室内・室外の移動や着席時の姿勢を保持する　適応調整	294	2	4		82.31	3	0.0000	[**]	0.5291
8			食事、準備と後片付けに通常通りに参加する　人的介助	294	2	4		13.06	3	0.0045	[**]	0.2108
9			食事、準備と後片付けに通常通りに参加する　適応調整	294	2	4		9.54	3	0.0229	[*]	0.1801
10			走る、飛ぶ、登る、キャッチボール、キック等　人的介助	294	2	4		35.49	3	0.0000	[**]	0.3474
11			走る、飛ぶ、登る、キャッチボール、キック等　適応調整	294	2	4		22.29	3	0.0001	[**]	0.2754
12			本・ノート・消しゴム・はさみ等の使用、失くさない　人的介助	294	2	4		72.73	3	0.0000	[**]	0.4974
13			本・ノート・消しゴム・はさみ等の使用、失くさない　適応調整	294	2	4		49.88	3	0.0000	[**]	0.4119
14			本・ノート等の授業の準備と机・棚に戻す片付け　人的介助	294	2	4		116.47	3	0.0000	[**]	0.6294
15			本・ノート等の授業の準備と机・棚に戻す片付け　適応調整	294	2	4		75.44	3	0.0000	[**]	0.5066
16			教科書（絵本）や黒板等を見てノートに書き写す　人的介助	294	2	4		102.37	3	0.0000	[**]	0.5901
17			教科書（絵本）や黒板等を見てノートに書き写す　適応調整	294	2	4		134.08	3	0.0000	[**]	0.6753
18		認知行動課題	コミュニケーション　人的介助	294	2	4		105.09	3	0.0000	[**]	0.5979
19			コミュニケーション　適応調整	294	2	4		87.61	3	0.0000	[**]	0.5459
20			記憶と理解　人的介助	294	2	4		72.53	3	0.0000	[**]	0.4967
21			記憶と理解　適応調整	294	2	4		59.06	3	0.0000	[**]	0.4482
22			大人の指示および校則の遵守　人的介助	294	2	4		49.32	3	0.0000	[**]	0.4096
23			大人の指示および校則の遵守　適応調整	294	2	4		87.61	3	0.0000	[**]	0.5459
24			課題遂行と達成　人的介助	294	2	4		98.54	3	0.0000	[**]	0.5789
25			課題遂行と達成　適応調整	294	2	4		96.32	3	0.0000	[**]	0.5724
26			前向きな交流　人的介助	294	2	4		72.20	3	0.0000	[**]	0.4956
27			前向きな交流　適応調整	294	2	4		45.75	3	0.0000	[**]	0.3945
28			行動の規制　人的介助	294	2	4		71.94	3	0.0000	[**]	0.4947
29			行動の規制　適応調整	294	2	4		105.26	3	0.0000	[**]	0.5984
30	達成度	身体的課題	徒歩または交通手段を活用して自力で登下校する	294	2	6		27.85	4	0.0000	[**]	0.3078
31			他の児童と適切な距離を保って移動する（先行したり、遅れを取らない）	294	2	4		27.48	3	0.0000	[**]	0.3057
32			授業中の30分程度は、適切な姿勢を保持する	294	2	4		54.63	3	0.0000	[**]	0.4311
33			昼食（給食）準備において、順番に列に並び容器からこぼさずに運ぶ	294	2	4		23.37	3	0.0000	[**]	0.2820
34			食事や飲み物をこぼさずに飲食し、こぼした場合には片付ける	294	2	4		9.17	3	0.0271	[*]	0.1766
35			所定の時間内に昼食（給食）を食べ終える	294	2	4		6.52	3	0.0890	[ ]	0.1489
36			ボールや縄跳び等の手具を使った遊びを行う	294	2	4		1.17	3	0.7613	[ ]	0.0630
37			ボール等を蹴る動作のある遊びを行う	294	2	4		11.65	3	0.0087	[**]	0.1990
38			高い構造物の遊具（ジャングルジム、うんてい等）を使う遊びを行う	294	2	4		79.90	3	0.0000	[**]	0.5213
39			必要な本を取り出し、ページをめくり、所定のページを開く	294	2	4		11.44	3	0.0096	[**]	0.1973
40			筆で絵（字）を描き、はみ出さずに塗る	294	2	4		13.68	3	0.0034	[**]	0.2157
41			他の児童と合わせて楽器を演奏する（勝手に音を出さない）	294	2	4		81.15	3	0.0000	[**]	0.5254
42			登校時に、カバン・教材等を机や棚などに所定の時間内・場所に整理して収納する	294	2	4		80.60	3	0.0000	[**]	0.5236
43			次の授業の教科書・ノート等を準備し、終了したら片付ける	294	2	4		65.10	3	0.0000	[**]	0.4706
44			宿題・手紙等を家に持ち帰り,その宿題・手紙の返事等を提出する	294	2	4		36.86	3	0.0000	[**]	0.3541
45			音楽レベルの言葉や数字を書く	294	2	4		46.96	3	0.0000	[**]	0.3997
46			机上の手本（教科書・練習帳）を見ながら他の生徒に遅れを取らずに書く	294	2	4		90.75	3	0.0000	[**]	0.5556
47			黒板の板書を見ながら他の生徒に遅れを取らずに書く	294	2	4		100.39	3	0.0000	[**]	0.5843
48		認知行動課題	短いメッセージを他者に伝える	294	2	4		35.53	3	0.0000	[**]	0.3476
49			情報について問い合わせる（分からないことについて質問する）	294	2	4		49.29	3	0.0000	[**]	0.4095
50			物の特徴を的確に相手に伝えたり、複雑な手順を他者に伝える	294	2	4		68.32	3	0.0000	[**]	0.4820
51			当該学年の国語の教科書（漢字含む）を読みとって理解する	294	2	4		31.81	3	0.0000	[**]	0.3289
52			日常のルーティンやゲーム・活動のルールを記憶し、合わせて行動する	294	2	4		26.52	3	0.0000	[**]	0.3003
53			先生から一斉指導の内容を記憶して、一人で作業を進める	294	2	4		57.44	3	0.0000	[**]	0.4420
54			やめるように指示されたら、速やかにやめる	294	2	4		52.66	3	0.0000	[**]	0.4232
55			おしゃべりに関するルールを守る	294	2	4		28.02	3	0.0000	[**]	0.3087
56			学校の既定のチャイムや鐘の合図に合わせて各活動の区切りを遵守する	294	2	4		17.29	3	0.0006	[**]	0.2425
57			失敗してもやり直す（あきらめない、カッとならない）	294	2	4		76.24	3	0.0000	[**]	0.5092
58			ルールまたは指示が分からない時は、助けを求める	294	2	4		82.97	3	0.0000	[**]	0.5312
59			自主的に課題に課題に取り組み、課題（量・質）を他者に遅れずに行う	294	2	4		107.50	3	0.0000	[**]	0.6047
60			目的を達成すべく、他の生徒とあらゆる面で協力し、活動する	294	2	4		44.84	3	0.0000	[**]	0.3905
61			グループの中で人の話を聞き、自分の考えも共有する	294	2	4		64.62	3	0.0000	[**]	0.4688
62			簡単な計画や決定について、他者と交渉し折り合いをつける	294	2	4		68.65	3	0.0000	[**]	0.4832
63			学校での大勢の参加する行事にいっしょに活動する（全体集会、運動会等）	294	2	4		52.25	3	0.0000	[**]	0.4216
64			挑発された時や怒っている時、暴力でなく言葉で対処する	294	2	4		56.10	3	0.0000	[**]	0.4368
65			うまくいっていない課題・活動のイライラを自身で落ち着ける	294	2	4		61.67	3	0.0000	[**]	0.4580

※　p値＜0.05は母集団おいて関連性があるといえる　　※　クラメール連関係数　：0から1の値で、1に近いほど関係性がある。

表7．障害例4群クロス集計結果に有意差があるか確認するためのカイ二乗検定結果（係数降順）

№	項目№	大項目	中項目	小　項　目	n	表側数	表頭数	注釈	カイ2乗検定（独立性の検定） 統計量	自由度	p値	判定	クラメール 連関関係数
1	35	達成度	身体的課題	所定の時間内に昼食（給食）を食べ終える	81	4	4		41.11	6	0.0000	[**]	0.5038
2	20	援助度	認知行動課題	記憶と理解　　人的介助	81	4	4		48.08	9	0.0000	[**]	0.4448
3	62	達成度	認知行動課題	簡単な計画や決定について、他者と交渉し折り合いをつける	81	4	4		46.25	9	0.0000	[**]	0.4362
4	9	援助度	身体的課題	食事、準備と後片付けに通常通りに参加する　　適応調整	81	4	4		15.06	3	0.0018	[**]	0.4312
5	47	達成度	身体的課題	黒板の板書を見ながら他の生徒に遅れを取らずに書く	81	4	4		44.24	9	0.0000	[**]	0.4267
6	32	達成度	身体的課題	授業中の30分程度は、適切な姿勢を保持する	81	4	4		40.37	9	0.0000	[**]	0.4076
7	16	援助度	身体的課題	教科書（絵本）や黒板等を見てノートに書き写す　　人的介助	81	4	4		39.14	9	0.0000	[**]	0.4013
8	6	援助度	身体的課題	廊下・室内・室外の移動や着席時の姿勢を保持する　　人的介助	81	4	4		38.56	9	0.0000	[**]	0.3984
9	59	達成度	認知行動課題	自主的に課題に課題に取り組み、課題（量・質）を他者に遅れずに行う	81	4	4		37.04	9	0.0000	[**]	0.3904
10	7	援助度	身体的課題	廊下・室内・室外の移動や着席時の姿勢を保持する　　適応調整	81	4	4		36.31	9	0.0000	[**]	0.3866
11	53	達成度	認知行動課題	先生から一斉指導の内容を記憶して、一人で作業を進める	81	4	4		33.96	9	0.0001	[**]	0.3738
12	24	援助度	認知行動課題	課題遂行と達成　　人的介助	81	4	4		32.50	9	0.0002	[**]	0.3657
13	8	援助度	身体的課題	食事、準備と後片付けに通常通りに参加する　　人的介助	81	4	4		10.79	3	0.0129	[*]	0.3651
14	28	援助度	認知行動課題	行動の規制　　人的介助	81	4	4		31.95	9	0.0002	[**]	0.3626
15	22	援助度	認知行動課題	大人の指示および校則の遵守　　人的介助	81	4	4		30.75	9	0.0003	[**]	0.3557
16	46	達成度	身体的課題	机上の手本（教科書・練習帳）を見ながら他の生徒に遅れを取らずに書く	81	4	4		29.87	9	0.0005	[**]	0.3506
17	2	参加度	衛生	衛生：トイレの適切な活用状況　（トイレ不使用、オムツ使用の場合は⇒1）	81	4	6		9.81	3	0.0202	[*]	0.3481
18	42	達成度	身体的課題	登校時に、カバン・教材等を机や棚などに所定の時間内・場所に整理して収納する	81	4	4		19.50	6	0.0034	[**]	0.3469
19	29	援助度	認知行動課題	行動の規制　　適応調整	81	4	4		28.60	9	0.0008	[**]	0.3430
20	55	達成度	認知行動課題	おしゃべりに関するルールを守る	81	4	4		27.38	9	0.0012	[**]	0.3357
21	41	達成度	身体的課題	他の児童と合わせて楽器を演奏する（勝手に音を出さない）	81	4	4		26.99	9	0.0014	[**]	0.3332
22	37	達成度	身体的課題	ボール等を蹴る動作のある遊びを行う	81	4	4		25.09	9	0.0029	[**]	0.3213
23	26	援助度	認知行動課題	前向きな交流　　人的介助	81	4	4		24.32	9	0.0038	[**]	0.3163
24	54	達成度	認知行動課題	やめるように指示されたら、速やかにやめる	81	4	4		24.09	9	0.0042	[**]	0.3148
25	56	達成度	認知行動課題	学校の既定のチャイムや鐘の合図に合わせて各活動の区切りを遵守する	81	4	4		23.97	9	0.0043	[**]	0.3141
26	18	援助度	認知行動課題	コミュニケ―ション　　人的介助	81	4	4		21.74	9	0.0097	[**]	0.2991
27	64	達成度	認知行動課題	挑発された時や怒っている時、暴力でなく言葉で対処する	81	4	4		21.58	9	0.0103	[*]	0.2980
28	23	援助度	認知行動課題	大人の指示および校則の遵守　　適応調整	81	4	4		21.45	9	0.0108	[*]	0.2971
29	65	達成度	認知行動課題	うまくいっていない課題・活動のイライラを自身で落ち着ける	81	4	4		20.89	9	0.0131	[*]	0.2932
30	12	援助度	身体的課題	本・ノート・消しゴム・はさみ等の使用、失くさない　　人的介助	81	4	4		20.89	9	0.0132	[*]	0.2932
31	17	援助度	身体的課題	教科書（絵本）や黒板等を見てノートに書き写す　　適応調整	81	4	4		20.04	9	0.0177	[*]	0.2872
32	33	達成度	身体的課題	昼食（給食）準備において、順番に列に並び容器からこぼさずに運ぶ	81	4	4		19.92	9	0.0184	[*]	0.2863
33	52	達成度	認知行動課題	日常のルーティンやゲーム・活動のルールを記憶し、合わせて行動する	81	4	4		12.48	6	0.0522	[ ]	0.2775
34	38	達成度	身体的課題	高い構造物の遊具（ジャングルジム、うんていなど）を使う遊びを行う	81	4	4		12.13	6	0.0591	[ ]	0.2737
35	60	達成度	認知行動課題	目的を達成すべく、他の生徒とあらゆる面で協力し活動する	81	4	4		17.96	9	0.0356	[*]	0.2719
36	57	達成度	認知行動課題	失敗しても立ち直る（あきらめない、カッとならない）	81	4	4		16.49	9	0.0573	[ ]	0.2605
37	25	援助度	認知行動課題	課題遂行と達成　　適応調整	81	4	4		16.27	9	0.0615	[ ]	0.2587
38	19	援助度	認知行動課題	コミュニケ―ション　　適応調整	81	4	4		16.00	9	0.0668	[ ]	0.2566
39	4	参加度	休憩	休憩：休み（自由）時間の身体的・社会的な活動への参加状況	81	4	6		15.38	12	0.2212	[ ]	0.2516
40	43	達成度	身体的課題	次の授業の教科書・ノート等を準備し、終了したら片付ける	81	4	4		14.04	9	0.1210	[ ]	0.2403
41	11	援助度	身体的課題	走る、飛ぶ、登る、キャッチボール、キック等　　適応調整	81	4	4		13.91	9	0.1256	[ ]	0.2392
42	3	参加度	食事	食事：食事・準備と後片付けへの参加状況	81	4	6		13.82	9	0.1289	[ ]	0.2385
43	5	参加度	授業	授業/行事：教室の学習、体育館・グランド等の行事・集会への参加状況	81	4	6		13.82	9	0.1289	[ ]	0.2385
44	49	達成度	認知行動課題	情報について問い合わせる（分からないことについて質問する）	81	4	4		13.56	9	0.1387	[ ]	0.2363
45	61	達成度	認知行動課題	グループの中で人の話を聞き、自分の考えも共有する	81	4	4		13.10	9	0.1581	[ ]	0.2322
46	10	援助度	身体的課題	走る、飛ぶ、登る、キャッチボール、キック等　　人的介助	81	4	4		13.08	9	0.1589	[ ]	0.2320
47	63	達成度	認知行動課題	学校での大勢の参加する行事にいっしょに活動する（全体集会、運動会等）	81	4	4		8.20	6	0.2236	[ ]	0.2250
48	50	達成度	認知行動課題	物の特徴を的確に相手に伝えたり、複雑な手順を他者に伝える	81	4	4		12.09	9	0.2083	[ ]	0.2231
49	51	達成度	認知行動課題	当該学年の国語の教科書（漢字含む）を読みとって理解する	81	4	4		3.95	3	0.2671	[ ]	0.2208
50	1	参加度	交通手段	登下校：一人で登下校する場面への参加状況（家族による毎日の送迎は⇒3）	81	4	6		7.73	6	0.2584	[ ]	0.2185
51	30	達成度	身体的課題	徒歩または交通手段を活用して自力で登下校する	81	4	6		7.73	6	0.2584	[ ]	0.2185
52	14	援助度	身体的課題	本・ノート等の授業の準備と机・棚に戻す片付け　　人的介助	81	4	4		11.13	9	0.2669	[ ]	0.2140
53	13	援助度	身体的課題	本・ノート・消しゴム・はさみ等の使用、失くさない　　適応調整	81	4	4		8.37	9	0.4972	[ ]	0.1856
54	27	援助度	認知行動課題	前向きな交流　　適応調整	81	4	4		8.28	9	0.5061	[ ]	0.1846
55	36	達成度	身体的課題	ボールや縄跳び等の手具を使った遊びを行う	81	4	4		7.89	9	0.5458	[ ]	0.1801
56	21	援助度	認知行動課題	記憶と理解　　適応調整	81	4	4		7.00	9	0.6369	[ ]	0.1698
57	15	援助度	身体的課題	本・ノート等の授業の準備と机・棚に戻す片付け　　適応調整	81	4	4		6.91	9	0.6469	[ ]	0.1686
58	31	達成度	身体的課題	他の児童と適切な距離を保って移動する（先行したり、遅れを取らない）	81	4	4		4.22	6	0.6465	[ ]	0.1615
59	45	達成度	身体的課題	許容レベルの言葉や数字を書く	81	4	4		4.22	6	0.6473	[ ]	0.1613
60	48	達成度	認知行動課題	短いメッセージを他者に伝える	81	4	4		5.57	9	0.7824	[ ]	0.1514
61	39	達成度	身体的課題	必要な本を取り出し、ページをめくり、所定のページを開く	81	4	4		2.90	6	0.8212	[ ]	0.1338
62	44	達成度	身体的課題	宿題・手紙等を家に持ち帰り、その宿題・手紙の返事等を提出する	81	4	4		2.03	6	0.9169	[ ]	0.1119
63	58	達成度	認知行動課題	ルールまたは指示が分からない時は、助けを求める	81	4	4		2.86	9	0.9694	[ ]	0.1086
64	40	達成度	身体的課題	筆で絵（字）を描き、はみ出さずに塗る	81	4	4		1.73	6	0.9428	[ ]	0.1033
65	34	達成度	身体的課題	食事や飲み物をこぼさずに飲食し、こぼした場合には片付ける	81	4	4	数一つ 計算できない					

※自閉症、学習障害、注意欠陥多動性障害、知的障害の４群の障害例の回答に有意な差を示す尺度項目を検索。連関係数：0から1の値で、1に近いほど関係性がある。
※　p値＜0.05は母集団おいて関連性があるといえる

表8．学校生活機能評価群指数とWISC4との相関

単相関行列表

変数名	WISC-IV_全検査IQ	WISC-IV_群指数_言語理解	WISC-IV_群指数_知覚推理	WISC-IV_群指数_ワーキングメモリー	WISC-IV_群指数_処理速度	WISC-IV_下位検査素点類似	WISC-IV_下位検査素点単語	WISC-IV_下位検査素点理解	WISC-IV_下位検査素点知識	WISC-IV_下位検査素点語の推理	WISC-IV_下位検査素点積木模様	WISC-IV_下位検査素点絵の概念	WISC-IV_下位検査素点行列推理	WISC-IV_下位検査素点絵の完成	WISC-IV_下位検査素点数唱	WISC-IV_下位検査素点語音整列	WISC-IV_下位検査素点算数	WISC-IV_下位検査素点符号	WISC-IV_下位検査素点記号探し	WISC-IV_下位検査素点絵の抹消
素点小計_参加度群指数:A	0.3226	0.1639	0.2381	0.2751	0.3659	-0.0246	0.0644	0.3913	0.0703	-0.0686	0.2420	0.1116	0.2251	0.1627	0.0771	0.2168	0.2672	0.3290	0.2918	0.1152
素点小計_人的介助群指数:B	0.2106	0.2291	-0.0001	0.1879	0.2325	0.1101	0.0602	0.3963	0.1408	-0.1737	0.0034	-0.0300	0.0357	-0.0126	0.0538	0.0646	0.3173	0.1700	0.1986	-0.0569
素点小計_適応調整群指数:C	0.2574	0.2761	0.0462	0.2979	0.1728	0.1616	0.1901	0.3460	0.2428	-0.2232	0.0259	0.0041	0.1075	-0.0439	0.2544	0.1117	0.3387	0.1282	0.1177	-0.1206
素点小計_身体援助群指数	0.1717	0.1384	-0.0325	0.1968	0.2606	0.0407	0.0010	0.3248	0.0429	-0.2964	-0.0033	-0.0827	0.0069	-0.0376	0.0738	0.0497	0.2641	0.2099	0.2062	-0.0507
素点小計_認知行動援助群指数	0.2748	0.3425	0.0716	0.2618	0.1373	0.2149	0.2265	0.3956	0.3013	-0.1291	0.0292	0.0528	0.1236	-0.0144	0.2058	0.1105	0.3659	0.0869	0.1077	-0.1130
素点小計_身体活動群指数:D	0.2821	0.2620	0.1444	0.1977	0.2524	0.1684	0.1130	0.3694	0.1942	-0.2682	0.0964	0.2015	0.0801	0.0060	0.0566	-0.0357	0.3694	0.2394	0.2282	0.0994
素点小計_認知行動活動群指数:F	0.2148	0.2634	0.1119	0.1802	0.0549	0.2862	0.1233	0.2453	0.2381	-0.3177	0.0627	0.1231	0.1396	-0.0265	0.1551	0.0045	0.3615	0.0700	0.0793	-0.2548
素点小計_学校生活機能全指数	0.2836	0.2740	0.1163	0.2476	0.2262	0.1742	0.1237	0.3831	0.2104	-0.2553	0.0873	0.0962	0.1253	0.0079	0.1326	0.0670	0.3758	0.1945	0.1954	-0.0663
素点小計_身体的課題1.移動・姿勢保持	0.1765	0.1108	0.0681	0.1955	0.1960	-0.0145	0.0140	0.3166	0.0034	-0.3410	0.0885	0.1588	-0.0375	0.0351	0.0912	-0.0574	0.2751	0.2241	0.1837	0.1833
素点小計_身体的課題2.食事	0.1054	0.1062	-0.0116	0.1574	0.0858	-0.0041	-0.0024	0.2921	-0.0596	-0.3065	-0.0705	0.0803	-0.0225	-0.1656	0.0060	-0.0204	0.2441	0.1524	0.0299	0.0771
素点小計_身体的課題3.道具の使用（レクリエーション）	0.3422	0.2983	0.2532	0.1925	0.2785	0.2031	0.1626	0.3999	0.2289	-0.2498	0.2288	0.3348	0.0938	0.0897	0.0548	-0.0251	0.2928	0.2027	0.3005	0.0912
素点小計_身体的課題4.教材の使用	0.2952	0.2217	0.2670	0.1075	0.2804	0.1311	0.1673	0.2228	0.2090	-0.1942	0.2246	0.2067	0.2274	0.1559	-0.0311	-0.0688	0.3626	0.2017	0.2637	0.1220
素点小計_身体的課題5.準備と後片付け	0.0832	0.1957	-0.0631	0.0314	0.0473	0.1421	0.0215	0.3324	0.1010	-0.0474	-0.1368	-0.0233	0.0247	-0.1599	-0.0490	-0.0629	0.2458	0.0689	0.0300	0.0265
素点小計_身体的課題6.筆記課題	0.3258	0.2926	0.1605	0.2567	0.3048	0.2753	0.1549	0.2619	0.3162	-0.2412	0.1016	0.1972	0.1037	0.0458	0.1491	0.0454	0.4119	0.2755	0.2608	0.0291
素点小計_認知・行動課題1.機能的コミュニケーション	0.4186	0.4375	0.2207	0.2940	0.2815	0.3371	0.3092	0.4188	0.3224	-0.2100	0.1527	0.2069	0.2704	0.1782	0.2483	0.0946	0.4385	0.2802	0.2938	-0.1323
素点小計_認知・行動課題2.記憶と理解	0.2725	0.2735	0.0978	0.3081	0.1632	0.3660	0.1582	0.1880	0.2555	-0.1053	-0.0269	0.2528	0.0638	0.1197	0.2305	0.1622	0.3581	0.1304	0.1635	-0.1084
素点小計_認知・行動課題3.大人の指示および校則の遵守	-0.1110	0.0107	-0.1766	-0.0848	-0.1092	0.0230	-0.1127	0.1311	-0.0489	-0.1558	-0.1995	-0.0831	-0.1418	-0.2023	-0.1252	-0.1421	0.1499	-0.0163	-0.1579	-0.1438
素点小計_認知・行動課題4.課題遂行と達成	0.2062	0.2379	0.2110	0.1051	0.0089	0.3335	0.0548	0.1270	0.2429	-0.2900	0.2282	0.1897	0.1525	0.0499	0.1605	-0.0565	0.2527	0.0264	0.0956	-0.3045
素点小計_認知・行動課題5.前向きな交流	0.2439	0.2622	0.2250	0.2004	-0.0039	0.2573	0.1880	0.2040	0.2395	-0.3381	0.1473	0.1268	0.3062	-0.0408	0.1988	-0.0103	0.3362	0.0127	-0.0044	-0.2297
素点小計_認知・行動課題6.行動の規制	-0.0212	0.0247	-0.1000	0.0593	-0.0639	0.0802	-0.0530	0.0759	0.1439	-0.5001	-0.0782	-0.0825	-0.0846	-0.1904	0.0150	0.0302	0.2030	-0.0626	-0.0041	-0.2820

※ ピアソンの積率相関係数　1～0～-1の値で、1に近いほど正の相関、-1に近いほど負の相関が強い。

判定表

変数名	WISC-IV_全検査IQ	WISC-IV_群指数_言語理解	WISC-IV_群指数_知覚推理	WISC-IV_群指数_ワーキングメモリー	WISC-IV_群指数_処理速度	WISC-IV_下位検査素点類似	WISC-IV_下位検査素点単語	WISC-IV_下位検査素点理解	WISC-IV_下位検査素点知識	WISC-IV_下位検査素点語の推理	WISC-IV_下位検査素点積木模様	WISC-IV_下位検査素点絵の概念	WISC-IV_下位検査素点行列推理	WISC-IV_下位検査素点絵の完成	WISC-IV_下位検査素点数唱	WISC-IV_下位検査素点語音整列	WISC-IV_下位検査素点算数	WISC-IV_下位検査素点符号	WISC-IV_下位検査素点記号探し	WISC-IV_下位検査素点絵の抹消
素点小計_参加度群指数:A	*				*			**										*		
素点小計_人的介助群指数:B								**									*			
素点小計_適応調整群指数:C				*				*									*			
素点小計_身体援助群指数								*												
素点小計_認知行動援助群指数		*						**									*			
素点小計_身体活動群指数:D								*									*			
素点小計_認知行動活動群指数:F																	*			
素点小計_学校生活機能全指数								*									*			
素点小計_身体的課題1.移動・姿勢保持								*												
素点小計_身体的課題2.食事																				
素点小計_身体的課題3.道具の使用（レクリエーション）	*	*						**				*							*	
素点小計_身体的課題4.教材の使用	*																*			
素点小計_身体的課題5.準備と後片付け								*												
素点小計_身体的課題6.筆記課題	*	*			*												**			
素点小計_認知・行動課題1.機能的コミュニケーション	**	**		*		*	*	**									**			
素点小計_認知・行動課題2.記憶と理解				*		*											*			
素点小計_認知・行動課題3.大人の指示および校則の遵守																				
素点小計_認知・行動課題4.課題遂行と達成						*														
素点小計_認知・行動課題5.前向きな交流													*				*			
素点小計_認知・行動課題6.行動の規制										*										

［判定マーク］　P＜0.01 [**]，0.01≦P＜0.05 [P＜0.01 [**]　0.01≦P＜0.05 [*]　P≧0.05 [ ]

５．主な発表論文等

〔雑誌論文〕　計2件（うち査読付論文　1件／うち国際共著　0件／うちオープンアクセス　1件）

１．著者名 中島恵子	４．巻 60（3）
２．論文標題 子どもたちの高次脳機能障害	５．発行年 2019年
３．雑誌名 児童青年精神医学 とその近接領域	６．最初と最後の頁 341-346
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

１．著者名 馬屋原誠司	４．巻 Vol. 53 (2016) No. 9
２．論文標題 前頭葉機能障害児童の自傷行為が新たな自己意識を形成することにより改善した1例－社会的行動障害評価へのSchool Function Assessmentの活用－	５．発行年 2016年
３．雑誌名 The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine	６．最初と最後の頁 716-720
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.2490/jjrmc.53.716	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

〔学会発表〕　計15件（うち招待講演　0件／うち国際学会　1件）

１．発表者名 馬屋原誠司、中島恵子、服部　環、金築　優
２．発表標題 日本語版School Function Assessmentの標準化研究 －ICF基づいた生活機能評価の作成－
３．学会等名 第44回　日本高次脳機能障害学会　ポスター発表　2020年11月20日（金）～ 12月7日（月）
４．発表年 2020年

１．発表者名 佐々木隆嘉、中山晴雄、沼田江梨子、中島恵子
２．発表標題 脳震盪後男子高校生への認知リハビリテーションの試み
３．学会等名 日本高次脳機能障害学会、第43回　ポスター発表　2019年11月28日
４．発表年 2019年

１．発表者名 馬屋原誠司
２．発表標題 ICF（国際生活機能分類）に基づく心理臨床業務の進め方」～ICFに基づく行動評価と神経心理学的検査の活用～
３．学会等名 日本心理臨床学会第38回大会　自主シンポジウム（リハビリテーション心理職会）
４．発表年 2019年

１．発表者名 馬屋原誠司
２．発表標題 後天性脳損傷の数年後に自傷行為を呈した児童にICF（国際生活機能分類）に基づいて対応した事例」～当事者・家族，学校，医療機関の協働した支援の試み～
３．学会等名 日本特殊教育学会第57回大会（2019年 9月21日 12:00～13:30 場所：広島大学 学士会館 2階）
４．発表年 2019年

１．発表者名 馬屋原　誠司
２．発表標題 公認心理師として求められる高次脳機能障害への支援～医療・福祉・教育の現場で～
３．学会等名 日本心理臨床学会第３７回大会　自主シンポジウム（リハビリテーション心理職会）
４．発表年 2018年

１．発表者名 馬屋原 誠司・中島 恵子
２．発表標題 Establishing autonomous behavior to improve social behavior in a boy with self-injurious behavior after acquired brain injury
３．学会等名 INTERNATIONAL BRAIN INJURY ASSOCIATION SECOND INTERNATIONAL CONFERENCE ON PAEDIATRIC ACQUIRED BRAIN INJURY（国際学会）
４．発表年 2017年

１．発表者名 馬屋原 誠司
２．発表標題 後天性脳損傷の数年後に自傷行為を呈した児童に危機介入した事例
３．学会等名 日本心理臨床学会 第36回秋季大会
４．発表年 2017年

１．発表者名 馬屋原 誠司
２．発表標題 中学校スクールカウンセリング相談事例における脳損傷経歴を持つ児童生徒数の調査報告
３．学会等名 第41回 日本高次脳機能障害学会学術総会
４．発表年 2017年

１．発表者名 馬屋原 誠司・中島 恵子
２．発表標題 後天性脳損傷児童の自傷行為の改善を目的に環境調整と段階的な行動目標から自律行動の形成に取り組んだ事例
３．学会等名 第41回 日本高次脳機能障害学会学術総会
４．発表年 2017年

１．発表者名 馬屋原誠司
２．発表標題 学習障害を持つ生徒への School Function Assessment を活用した合理的配慮の検討
３．学会等名 日本心理臨床学会第35回秋季大会　口頭発表（事例研究90分）OA5
４．発表年 2016年

１．発表者名 馬屋原誠司
２．発表標題 特異的言語発達障害生徒の学校生活機能の向上めざしたSchool Function Assessmentから設定した標準作業を活用したアプローチ
３．学会等名 第40回日本神経心理学会学術集会 ポスター発表
４．発表年 2016年

１．発表者名 馬屋原 誠司
２．発表標題 脳外傷の数年後から自傷行為を発現した児童への長期経過の報告－School Function Assessmentによる学校での子どもへの合理的な配慮の検討－
３．学会等名 日本臨床発達心理士会第11回全国大会　実践研究発表・実践セミナーＢ
４．発表年 2015年

１．発表者名 馬屋原 誠司
２．発表標題 脳外傷の数年後に発達の停滞を呈した児童へのCAPDアプローチ－School Function Assessmentからつまずきを早期発見する試み－
３．学会等名 第39回日本神経心理学会総会　口演発表
４．発表年 2015年

１．発表者名 馬屋原 誠司
２．発表標題 交通事故の数年後から自傷行為を発現した児童の長期経過の報告－School Function Assessmentによる学校での子どもへの合理的な配慮の検討－
３．学会等名 日本心理臨床学会第３４回秋季大会　事例研究 OA6-07
４．発表年 2015年

１．発表者名 馬屋原 誠司
２．発表標題 脳外傷後に自傷行為を呈した児童へのCAPDアプローチ－後遺症評価へのSchool Function Assessmentの活用 －
３．学会等名 第39回日本高次脳機能障害学会学術総会一般口演　2C8-4
４．発表年 2015年

〔図書〕　計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

－

６．研究組織

	氏名 （ローマ字氏名） （研究者番号）	所属研究機関・部局・職 （機関番号）	備考
研究分担者	服部　環 (Hatori Tamaki) (70198761)	法政大学・現代福祉学部・教授 (32675)	
研究分担者	金築　優 (Kanetuki Masaru) (90454082)	法政大学・現代福祉学部・教授 (32675)	

	氏名 （ローマ字氏名） （研究者番号）	所属研究機関・部局・職 （機関番号）	備考
研究協力者	馬屋原　誠司 (Mayahara Seiji)		所属：広島市立五日市観音小学校 職名：スクールカウンセラー

７．科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕　計0件

８．本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関